

# 細木あけみ議会だより

## 第6号

発行  
令和5年2月

細木明美事務所

〒690-0332  
松江市鹿島町佐陀本郷624-3

TEL・FAX  
0852-82-1180

E-mail  
info@hosogi-akemi.jp

ホームページ  
http://www.hosogi-akemi.jp

### 新年に姿を現した新庁舎に期待！「飛躍」の年に！

国内で初めてコロナ感染者が確認されてから3年が経ちました。まだ高齢者の死亡が多いことが気になります。5月には2類から季節性インフルエンザと同じ5類に引き下げられることが決定しました。これからは、マスク着用など個人の判断に委ねられるところが多くなりますが、自分のために、大切な人のために、

「思いやり」の気持ちを忘れないうちに、「思いやり」の気持ちです。年が明けて、現在建設中の市役所の周りを囲んでいた工事用の白い壁が取り除かれて、新庁舎が姿を現しました。これは宍道湖に面した第一期工事のもので、3月下旬には完成し、5月上旬から供用開始します。(全体の完成は令和8年度です)こ

の3年間、私たちはコロナによって多くの事を辛抱してきましたが、この新庁舎の姿に、松江市にとって何か今までと違う年になるような、期待のようなものを感じています。そして今年が卯年です。今までの数年間から大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する年になって欲しいものです。私もそうした気持ちで元気にこの1年頑張つてまいりたいと思います。

細木 明美

### 行政等視察報告

コロナのために2年間全く行政視察が出来ませんでした。昨年からやっと、視察前後に抗原検査をするなど感染対策をしながら議会として実施出来るようになりました。

#### ◆会派(明政会)視察 (8月3日～5日)

北海道稚内市、航空自衛隊稚内分屯基地、幌延深地層研究センター、幌延町「バイオマス産業都市の取組について」「オートンレイ風力発電所について」、北海道電力



#### ◆会派(明政会)視察 (10月20日～21日)

衆議院第二議員会館「地方交通の考え方(国土交通省)」「観光庁令和5年度予算概算、具体的施策(観光庁)」、複合型ランニングステーション視察、衆議院議長公邸、豊洲市場

#### ◆教育民生委員会視察 (10月12日～14日)

大阪府大東市「家庭教育支援事業について」、兵庫県明石市「中学校給食無償化事業について」「0歳児見守り訪問「おむつ定期便」について」、兵庫県小野市「夢と希望の教育について」

#### ◆島根原子力発電所対策特別委員会視察 (11月14日～16日)

日本原燃株式会社原子燃料サイクル施設(青森県六ヶ所村)、女川原子力発電所(宮城県女川町)

その中から8月の会派視察で行った「幌延深地層研究センター」と「北海道電力」についてご報告いたします。



### 「幌延深地層研究センター」

原子力発電所を稼働すると、高レベル放射性廃棄物が出ます。いわゆる「核のごみ」と言われるものです。現在世界では、日本も含めた多くの国で、この高レベル放射性廃棄物の処分方法として、ガラスに閉じ込めて(ガラス固化体)地下深く埋める「地層処分」の研究が進んでいます。

日本での研究がされているのが、今回視察した北海道幌延町にある「幌延深地層研究センター」です。以前はもう一カ所、岐阜県瑞浪市に「瑞浪超深地層研究所」がありまし

たが、既に研究が終了し、令和4年1月に埋め戻しが完了しています。この二つの研究施設は地質環境に違いがあり(幌延は堆積岩、瑞浪は結晶質岩)、それぞれ我が国固有の地質で、地下350mから最終500mまで掘り進み、地下水の動きや地震の影響など様々な研究がなされている様子を見ることができました。

そして、現在最終処分場として文献調査を行っているのが、北海道の寿都町と神恵内村の2町村です。最終処分場の選定は、原子力発電を進めて行く上で避けられない課題であり、そのための重要な調査が現在行われてい



ます。言うまでもなく、日本の将来がかかった重要な調査であり、ぜひともこれまでに進んで欲しいと私も期待し注視しています。

### 「北海道電力」

平成30年9月6日、北海道胆振地方中東部を震源とするマグニチュード6.7の地震が発生しました。41名が死亡、1,600戸を超える住宅が全壊・半壊した「北海道胆振東部地震」です。

この地震により、主力電源である苫東厚真発電所をはじめとした北海道内全ての発電所が緊急停止し、北海道全域の約29.5万戸が停電しました。これが「ブラックアウト」で

す。このブラックアウトの状態が2日間続いたそうです。

私は、このブラックアウトを経験して、北海道電力は何か変わった事があるのだろうかと思ひ質問しました。会社としては、防災に対する感度・起動が高くなり、組織としては縦割り意識があったが、再発防止対策は一体となって取り組むべき事柄であり、分社化しても部門間の垣根を超えて一体であるという意識となったということでした。二度とこのようなことは起こしてはならないという電力会社としての強い責任と決意を感じました。このブラックアウトの教訓を、経験してない全国の電力会社においても今後活かして欲しいと思います。

この他、教育民生委員会視察の内容については、2月下旬に配布予定の「まつえ市議会だより No.54」に委員長報告を掲載していますのでご覧ください。

### これから「コロナ」はどうなるの？

- 5月8日から、感染症法上5類への位置づけに変更になります。
- これにより、現時点で示されている国の対応方針は次のとおりです。(今後3月上旬を目途に、更に具体的な方針が示される予定です。)
- ①4月以降必要なワクチン接種は、自己負担なく受けられるようにする。
- ②基本的な感染対策として、マスク着用は個人の判断に委ねることを基本として検討する。医療機関や高齢者施設でのクラスター防止対策は継続する。
- ③入院・外来医療費の自己負担に係る一定の公費負担は、期限を区切って継続する。

# 令和3年度 定例会 一般質問の内容

今回は令和3年度定例会に行った一般質問の主な内容を紹介いたします。

## 【令和3年6月定例会】

### 島根町加賀の大規模火災について

(質問) 消火活動にかなりの時間を要した原因は何か。消防としての今後に向けた課題とその解決に向けた取組を伺う。

(答弁) 消火活動開始後、強風に変わったため、延焼防止活動を図りながら、北西方向の山林及びコテージ側への拡大を防ぎ消火活動を行った。鎮圧から鎮火までの残火処理により時間を要したものである。今後は、市内の木造建築物が密集した地域においては、強風下で火災が発生すれば大規模な火災になり得るという前提に立って、必要な対策を検討すべきであることから、①火災予防対策の推進、②消防水利の確保、③消防団の充実強化、④現場指揮体制の整備に取り組んでいく。(消防長)

(質問) このような火災は二度と起こしてはならない。被災した場所と近隣地域はもちろん、状況が似通った地域が、このたびの火災を教訓にして、それを生かしたまちづくりを進めて行かなければならない。これは、市民の生命と財産を守る行政として最も重要なことであり、早急に進めて行く必要があると思う。市長の考えを伺う。

(答弁) 二度と同じことを繰り返さぬよう、災害に強く、安全・安心に住み続けられるまちを築いていく必要がある。議員もご存知のとおり、島根半島の海岸沿いには同じような危

険性を抱える地域が多くあるが、実情と住民の皆様の防災に対する考えを確認し、具体的な対策と災害に強いまちづくりについて検討を始めていきたいと考えている。(上定市長)

このほか、次の1項目についても質問しました。

### ● 島根原子力発電所について

## 【令和3年11月定例会】

### 支所における人員配置について

(質問) 地元出身の若手職員の配置が必要であると考える。地域の若い人を掘り起こし、一緒にまちづくりを行っていくことこそ地域振興であり、その経験は、その後本庁で様々な業務をしていく上でとても役立つものであると考えるがいかがか。

(答弁) 支所に配置された職員が地域の皆さまと共にまちづくりに取り組み、窓口業務などを通じて市民目線を養うことは、とても重要なことである。特に若手・中堅職員が、地元への恩返しをモチベーションに業務を通じて成長していくことも期待される。しかし現状は、支所管内に居住する職員が約3割、全体の平均年齢は52歳と高く、いびつな構成となっている。市民の皆様にとって身近で頼りになる職員を育成するためにも議員から御提言のあった若手職員の配置を検討していきたい。(総務部長)

(令和3年4月から支所に地元出身の若手職員が配置されました。)

このほか、次の3項目についても質問しました。

● 松江市の水産振興と恵曇港の再開発について

● 島根町加賀大火の被災者支援とその後について

● 島根原発2号機の再稼働について

## 【令和4年2月定例会】 (代表質問)

### 教育の充実について

(質問) 現代社会をどのように捉え、今後どのような子どもたちを育てていくのか、教育は変わっていくのか、教育長の考えを伺う。

(答弁) 現代社会は、グローバル化や情報化の進展、技術革新の波が急速に押し寄せる中、複雑多様化しており、変化の速い先行きが不透明な



社会である。今の子どもたちが社会人として活躍する頃には、社会構造や雇用環境が大きく変化してくるものと考えている。そうした中、最も教育現場に影響を及ぼしているのは、教育のデジタル化であると考えている。教員、教育委員会、保護者が思いを一つにして効果的なデジタル学習の実現に取り組み、子どもたちを育てていかなければならない。予測不可能な時代、変化に柔軟に対応できる能力を身につけさせていくことで、松江の子どもたちは素晴らしいという評価をしていただけるよ

うにしていきたい。そのために教育委員会、松江の教育は変わっていくなければならないと確信している。(教育長)

### 持続可能な公共交通について

(質問) 車がなくても生活ができる。運転免許を返納しても、都会から移住しても生活できる、持続可能な社会、公営交通を持つているからこそ市民のためのきめ細かい大胆な交通政策を検討していただきたい。市長の考えを伺う。

(答弁) 地域公共交通は、地域住民の日常生活や経済活動を支える重要な社会インフラであると認識している。また、市域全体がバランスの取れた発展を遂げるためには、中心市街地と周辺部、旧町村部の市街地や集落など既存のコミュニティを公共交通で結ぶコンパクト・プラス・ネットワークの構築が必要と考えている。こうした観点から、まずは路線バスやコミュニティバスの利用状況などの実態調査を行い、議員ご指摘のとおり交通局と民間交通事業者の役割分担を含め、バス路線の再編や多様な交通手段の活用など市民の皆様のための交通政策を検討していく。(上定市長)

このほか、次の8項目についても質問しました。

● 来年度の予算編成について

● 今後の景気について

● 「新型コロナウイルス感染症」への対応について

● 「人口減少」への対応について

● 子育て環境の充実について

● 松江市の脱炭素の取組、エネルギー政策について

● 各企業局について

● 市役所の機構改革について

## 2月定例会日程

◆ 2月21日(火) 本会議(会期の決定、提案説明)

◆ 2月27日(月) 2月28日(火) 本会議(一般質問)

◆ 3月1日(水)

◆ 3月3日(金) 予算委員会(質疑、分科会分担・委託)

◆ 3月6日(月)・3月7日(火) 総務委員会・予算委員会総務分科会

◆ 3月8日(水)・3月9日(木) 教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会

◆ 3月10日(金)・3月13日(月) 経済委員会・予算委員会経済分科会

◆ 3月14日(火)・3月15日(水) 建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会

◆ 3月20日(月) 予算委員会(分科会長報告・質疑、討論、採決)

◆ 3月24日(金) 本会議(委員長報告・質疑、討論、採決)

## 編集後記

久しぶりの発行になってしまいました。スママセン。先月は、十年に一度の大寒波が松江を襲いました。気温の低い日が何日も続き、積もった雪もなかなか解けてくれませんでした。

立春を迎え、暦の上では春になりましたが、まだまだ寒い日が続きます。皆様どうぞ健やかにお過ごしください。